

(別紙)

テレワーク月間設置の趣旨

平成 27 年 7 月 7 日
テレワーク推進フォーラム
テレワーク月間実行委員会
委員長 東北芸術工科大学教授 松村 茂

少子高齢化や情報通信技術の進歩により私たちの社会が大きく変わってきています。それは私たちの仕事のやり方にも変化をもたらし、女性や高齢者、障がい者などさまざまな働き手にとって新たな活躍の場を開いています。

パソコンなどの情報通信技術を活用した場所にとらわれない働き方をテレワークといいます。最近では、自宅や街角のカフェ、図書館などでテレワークする人をよくみかけるようになりました。またテレワークを利用して IJU ターンするフリーランサーの増加も期待されています。

「テレワーク月間」は、時代の変化に合わせ、国民一人ひとりが未来につながる「働き方」のひとつであるテレワークについて考え、実践する期間です。テレワークを実践している企業・団体・個人には、月間にふさわしい活動を登録していただき、またテレワーク未経験の企業・団体・個人にはそれらの活動に参加してテレワークを体験していただきたいと思います。誰もが参加できる国民運動にしたいと考えています。

今年から始まる「テレワーク月間」が、テレワークを実施している企業・団体からクラウドソーシングで仕事を受注する個人の方まで、多くの支持を得て認知が広まり、新しい働き方にトライする人々を増やす機会になりますよう祈念いたします。